自治労連 ちば

第524号
2014年1月5日

発行・自治労連千葉県本部
千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター内
TEL 043-227-9393　FAX 043-227-6060
mail　jichiroren-chiba@ia5.itkeeper.ne.jp
URL　http://www.jichirorenchiba.jp/
責任者・斎藤　実　　編集長・實川　理

謹賀新年

総合的見直し反対

県本部委員長　斎藤実

昨年の賃金確定では、7年ぶりの給与・一時金引上げを勝ち取りました。賃金改善を求める私たちの粘り強い運動の成果です。給与を平均2％引き下げ地域間格差を拡大する「給与制度の総合的見直し」に対するたたかいは、これからが本番です。今春闘の中心課題として、「見直し」反対の運動に全力をあげましょう。

安倍政権は、集団的自衛権行使、原発再稼働と海外売込み、消費税10％増税、沖縄新基地建設など、国民世論を無視した暴走を続け、国民との矛盾は深まるばかりです。

今年は戦後70年です。「壊憲」を許さず、憲法をいかした民主的な自治体づくりをめざし、自治体労働者の役割を大いに発揮して頑張りましょう。

見つけた歩み　私の自治体職員道

青年セミナー　「自治体職員って？クミアイって？」講師：大石さん（長野県阿智村職員）

11月22日、青年部の青年セミナー、定期大会、県外研修「どこいく？総選挙」の3つのとりくみが行われました。今年の青年部はますます面白くなりそうです。

青年セミナーでは、全国で最も元気に活動する青年部の一つである長野県阿智村青年部から、元書記長の大石さんを招いて、職員としての思いや組合との出会いなどについてお聞きしました。

自治体職員の魅力がわからなかった

阿智村に勤めはじめた大石さんは、自治体職員の魅力がわからなかったといいます。

仕事に具体的な成果が見えず、やりがいを持ちにくい上、公務員バッシングで社会的評価も低く、自治体職員として努力する方向を見出せずにいました。

自治労連の企画で頑張る青年に出会う

転機は、自治労連の主催する青年の全国的な企画でした。「おきて☆プロ」（2009年）や「青年のつどいin伊豆」（2010年）に参加する中で、それぞれの自治体で頑張る同世代の青年に出会い、また国の制度や社会を改善していこう、住民と一緒に考えようというスタンスを持つ自治労連の活動に共感し「自治体職員っていいね」と思えたと振り返ります。

大石さん

自治体職員の理想に出会った大石さんは、阿智村の青年部で頑張ることを決意し試行錯誤を重ねます。

住民に見える仕事と組合に

「青年自治研in岩手」（2013年）では、災害時に住民から噴出する自治体職員への不満に驚かされました。仲間と議論する中で、役場の仕事や組合活動を住民に見えるようにすることや自治研活動の重要性に気づき、青年部として夏祭りなど地域のイベントへの参加や青年部活動の展示を行うようになります。

また、研究者や村長を講師に、組合や村づくり、憲法、市町村が支えた満蒙開拓団の歴史などを学習し、活動内容を青年部ニュース『sow＊gen』で情報共有しています。

部員に話を聞き、皆で話し合い、常に考え続けることなど、基本を大事に活動しているということでした。

2015年（5月か6月）青年部県外研修は
長野県阿智村に決定
～日本一の星空、超本気の住民自治、温泉が魅力～

青年部県外研修　どこいく？総選挙

北海道・岩手・長野のプレゼン合戦

青年部定期大会終了後、今年の青年部県外研修の行先を決める「どこいく？総選挙」が行われました。事前投票と当日の投票により行き先を決めるガチンコ選挙です。

まず、①北海道（夕張）、②岩手（葛巻町）、③長野（阿智村）の各候補について青年部役員がプレゼンし、各地の学習、観光、遊び、食の魅力をアピールしました。

続いて、会場の参加者が投票し、投票箱で回収、即開票が行われました。

開票作業

日本一の星空で長野が一歩リード

会場の参加者の票は、①北海道5票、②岩手8票、③長野16票となり、匝瑳市の加瀬さんの「日本一の星空」を打ち出したプレゼンと大石さんの青年セミナーの効果が表れました。

最後に注目の事前投票結果が読み上げられました。事前投票では北海道が健闘し17票を獲得しましたが、当日の投票結果を覆すまでには届かず、長野が計24票を獲得して1位となり、今年の県外研修は長野県阿智村に決まりました。

【阿智村】人口6692人（2014年10月現在）の長野県南部の山間の村。

住民参加の予算づくり、まちづくりに関する住民の自主的な研究を財政的・人的に支援するなど住民主体のまちづくりをすすめる。環境省「星が最も輝いて見える場所」一位。特産は干し柿、五平餅など。

県本部青年部定期大会

新役員を紹介する新部長の大西寛さん（左端）と役員のみなさん

新体制スタート

青年部の第34回定期大会が開催され、10単組の青年と来賓、県本部の計36人が参加しました。大会では、自治労連青年部の熊谷一会（いちえ）副部長、千葉労連青年部の矢澤淳書記長、県本部の黄木祥久子副委員長が挨拶。

新たに4人のメンバーが役員に加わり11人の新体制がスタートしました。